

盛岡地区かわまちづくり モニタリング・フォローアップについて

1. モニタリング実施概要

H21 年度から実施してきた盛岡地区かわまちづくりの評価・検証のため、R3 年度よりモニタリングを実施している。

■モニタリングの目的

- ・ かわまちづくりの目的に対する効果発現状況を把握
 - ↳ 賑わいの創出、観光の推進、地域活性化（本懇談会の規約より）
- ・ 北上川総合水系環境整備事業事後評価に向けた資料収集

■これまでの経緯と今後の予定

年度	スケジュール
R2 年度	・モニタリング計画を作成
R3 年度	・モニタリング計画について、第 15 回懇談会（R3.7）にて意見交換 ・モニタリング調査（1 年目） ・2 年目に向け、修正モニタリング計画を作成
R4 年度	・モニタリング調査（2 年目） ・本日の第 16 回懇談会（R5.2）にて、 これまでのモニタリング経過 を報告
R5 年度	・モニタリング調査（3 年目） ・モニタリング結果の中間とりまとめ
R6 年度	・モニタリング調査（4 年目）
R7 年度	・モニタリング調査（5 年目） ・事業事後評価

当初計画では、かわまちづくりの取組内容に対応するように構成した

モニタリング実施結果（個別）
および修正計画の No. と対応

初年度（R3 年度）モニタリング 実施概要

当初計画			No.	結果・修正計画
かわまち取り組み内容	モニタリング目的	データ収集方法案（調査主体案）⇒調査頻度案 ①モニタリング実施及びとりまとめ、②資料収集及びとりまとめ		・ R3 試行結果 →結果を踏まえた次年度以降のモニタリングの方向性・課題
遊歩道階段案内看板	整備した施設の利用状況の評価	①河川水辺の国勢調査【河川空間利用実態調査】に準じた調査（河川管理者） 定点観測調査：中津川1地点、北上川1地点、区間観測調査：7.7km	1	・水辺の国勢調査とは調査の枠組みが異なるため比較できなかった →定性的指標として整理することが適当
	利用者からの意見・感想の評価	②河川巡視時の定期的な定点目視観測により利用人数をカウント（河川管理者）⇒通年実施	4	・頻度高く実施しており平均値を算出できた →日常利用者数の主たる調査として記録する ・調査（河川巡視）実施日の条件が偏る →天候や曜日・時間帯による分析は行えない。
石積護岸	景観の評価 利用者からの関心度合評価	① SNS 投稿のロコミ数・高評価数の定期的検索（河川管理者）⇒4回実施	3	・市民のかわまちづくりへの評価・関心度を大まかにモニタリングできる →イベントと併せて SNS 投稿キャンペーン等を実施すれば、さらに PR 効果が高まると考えられる ・web アンケートを実施し、石積み護岸の印象は「とても良い」または「良い」が7割だった
		② 河川巡視時の目視点検（河川管理者）⇒通年実施	6	・調査箇所の雑草の被覆は見られなかった →次年度以降も継続して実施する
河道整正	河川の流下を阻害する立木、中州、岩石等の有無の評価	③ 河川巡視時の目視点検と写真記録（河川管理者）⇒通年実施	6	・調査箇所において利活用で支障となる物は見られなかった →次年度以降も継続して実施する
親水護岸（船着場）整備	親水護岸（船着場）の利用状況の評価	① 乗船者数（舟運事業者）⇒通年実施	8	→次年度以降も継続して実施する（盛岡市、舟っこの会調査結果を収集・整理する）
		② 市の観光入込客数（盛岡市）⇒年度末データ集計時実施	12	→次年度以降も継続して実施する（盛岡市調査結果を収集・整理する）
		③ 関連施設入場者数（乗船・下船場所周辺の施設管理者）⇒年度末データ集計時実施	13	→次年度以降も継続して実施する（盛岡市調査結果を収集・整理する）
スロープ整備	水上アクティビティの利用者の実態評価	②河川巡視時の定期的な定点目視観測により利用人数をカウント（河川管理者）⇒通年実施	4	・頻度高く実施しており平均値を算出できた →日常利用者数の主たる調査として記録する ・調査（河川巡視）実施日の条件が偏る →天候や曜日・時間帯による分析は行えない。
		②関連有料施設利用者数（スロープ周辺の便益施設管理者）⇒通年実施	14	→次年度以降も継続して実施する（盛岡市調査結果を収集・整理する）
		②イベント会場での人数カウント数（イベント主催者等）⇒イベント開催時実施	7	・一時使用・占用申請書類による使用人員はイベント参加者数とは一致しない場合も含まれた →舟運 No.8、木伏緑地イベント No.15 については別途整理する
サケを活かしたまちおこしツールの製作	サケ遡上の広報実態評価	②遡上時期に合わせたサケのぼり等の設置箇所数（河川管理者もしくははのぼりの製作管理主体）⇒サケ遡上開始前時期に実施	9	→次年度以降も継続して実施する
	教育機関におけるサケの学習実態評価	②配布対象学校等への冊子活用実態アンケート調査（河川管理者）⇒2～3年に1回アンケート実施	11	・今年度はアンケートを実施しなかった →R5 年度を目途に実施する
	観光客のサケ冊子活用実態評価	②サケ観光コース案内実施回数（観光コンベンション協会）⇒サケの遡上時期実施 ③ 観光コンベンションセンターでの冊子配布部数（観光コンベンション協会）⇒通年実施	11 11	・今年度、該当する実施実績はなく、今後実施する予定もないことがわかった →モニタリングの対象外とする →次年度以降も継続して実施する（国交省、盛岡市の配布状況を整理する）
新規イベントもしくは継続的イベントの開催	新たなイベントの立ち上がりおよび継続的イベント開催の実態評価	②河川敷を含むイベント会場での人数カウント数（イベント主催者）⇒イベント開催時実施	7	・一時使用・占用申請書類による使用人員はイベント参加者数とは一致しない場合がある →舟運 No.8、木伏緑地イベント No.15 については別途整理する
		②河川敷の一時利用届資料（河川管理者）⇒通年実施 主催者資料（イベント主催者）⇒イベント開催時実施	7	・一時使用・占用申請書類による件数および時期はイベントの実態と一致しない場合がある →参考として、注釈をつけて整理する
	イベント等の認知度	②参加者アンケート（盛岡市またはイベント主催者）⇒イベント開催時実施	2-2	・web アンケートにより、イベント参加者（市民）の意向を調査した →次年度以降も継続して実施する
環境美化活動	活動の実態評価	①WEB アンケート（河川管理者または盛岡市またはイベント主催者）1回実施	2	・イベント認知度の他、かわまち整備施設の認知度を調査した ・次年度以降も継続して実施する
		②主催者資料（清掃活動、外来種駆除活動主催者）⇒活動時実施	7	・その他イベントと併せて整理した →次年度以降も継続して実施する
		②主催者資料（清掃活動、外来種駆除活動主催者）⇒活動時実施	7	・その他イベントと併せて整理した →次年度以降も継続して実施する

修正計画では、利活用のフェーズに移ったことから、利用の観点別にモニタリングを再整理した

「定性的指標とすることが適当」との R3 年度結果より、調査頻度を抑える計画に修正

当初計画と同様に、修正計画でもかわまちづくりの取組に対応しているか確認した

R4 年度の新規配布により追加

R4 年度以降のモニタリング計画（修正計画）

観点	No.	調査の枠組み	調査手法	指標	調査主体	調査詳細 (調査時期・頻度または回数)	調査により把握するかわまちづくりの取組み						
							ハード			ソフト			
							周遊 ・遊歩道 ・階段 ・サイン	景観 ・石積	親水 ・船着場 ・スロープ	サケ	イベント	活動団体	
利用常	1	かわまちモニタリング調査	現地調査 (水辺の国調)	利用者数 利用形態	河川管理者	水辺の利用を的確に把握するための現地調査として、河川水辺の国勢調査(利用実態調査)に準じた現地調査を行う(隔年度、春夏秋冬(年7回)※1)	◎	○	○				
(定性情報)	2		web アンケート	市民の認知度 利用者意向	河川管理者	利用者の意向等を広く定性的に調査するため web アンケートを実施する。その際、過年度結果との比較を行えるよう留意する(任意・年1回)	○	○	○	○	◎		
	2-2		対面アンケート		イベント主催者	イベント参加者の意向等を定性的に調査する(イベント実施時・随時)							
	3		SNS パトロール	口コミ数	河川管理者	整備地区へのイメージ等を広く収集するため、北上川・中津川や沿川の施設に関する web 上の評価や口コミ等を収集する(適宜・年4回)	○	○	○	○	○	○	
利用常	追1		かわまちづくり PR マップ	配布数	河川管理者	パンフレットの活用状況を把握する(配布後※2・年1回)	◎	○	○	◎	◎		
情報定	5	河川巡視	カウント調査	利用者数	河川管理者	日常的な利用者の数を把握する(河川巡視に準ずる・概ね隔週)	◎						
			写真撮影	利用状況 雑草被覆状況 河道内の状況	河川管理者	日常的な利用状況を把握する。雑草被覆および河道内の大型樹木や岩、堆砂で河川の利活用が阻害されていないか確認する(河川巡視に準ずる・概ね隔週)	◎	◎					
イベント(スポーツ的)利用	6	イベント等による河川の占有調整(管理)	占有申請書類	イベント実施主体 イベント数 参加者数	河川管理者	イベントによるにぎわいの創出状況を把握する。新規イベントの立ち上がりがないか確認する(随時)	○	○	○		◎	○	
	7	舟運	舟運実験報告書	実施回数 利用者数	盛岡市(公)	船着場の利活用状況を把握する(年間予定終了後※2・年1回)			◎		◎	○	
	8	サケを活かしたまちおこし	サケのぼり	設置数	河川管理者	サケのぼりの活用状況を把握する(設置後※2・年1回)				◎			
	9		サケ冊子	配布数	河川管理者 盛岡市(観)	サケ冊子の活用状況を把握する(配布後※2・年1回)				◎			
10	活用状況			河川管理者	冊子配布先を対象に活用状況についてアンケート調査を実施する(実施後※2・2-3年に1回)				◎				
参考データ	11	市	統計調査	観光統計	観光入込客数	盛岡市(観)	かわまちづくりの間接的な効果として、観光入込客数の推移を確認する(おおそ冬頃・年1回)	○	○	○	○	○	○
	12		施設管理	もりおか町家物語館の運営	利用者数	盛岡市(観)	かわまちづくりの間接的な効果として、観光入込客数の推移を確認する(おおそ冬頃・年1回)	○	○	○			
	13			御蔵の運営	利用者数	盛岡市(観)	かわまちづくりの間接的な効果として、観光入込客数の推移を確認する(おおそ冬頃・年1回)	○	○	○			
	14	Park-PFI	木伏緑地の運営	利用者数	盛岡市(公)	かわまちづくり(北上川)の拠点施設である木伏緑地の利用者数推移を確認する(調査(例年10月末-11月初)終了後・年1回)			○				
	15			イベント数		イベントによるにぎわいの創出状況を把握する 河川区域を活用したメニューは特に詳細に取りまとめる(イベント終了後※2・年1回)			○		◎	○	

日常的な(全日の)利用を主な調査対象とするが、一部イベント(スポット的)利用に特化した調査も行う

凡例調査主体(河川管理者:国土交通省岩手河川国道事務所、盛岡市(公):盛岡市都市整備部公園みどり課、盛岡市(観):盛岡市交流推進部観光課)、調査(事業)の枠組み(かわまちモニタリング調査:受注者がモニタリングを実施し取りまとめる、そのほか:受注者は調査実施主体よりデータを収集し、取りまとめる)

備考※1原則水辺の国勢調査に準じた日程とする ※2調査実施日は、おおそ冬頃。

2. R4 年度までのモニタリング実施結果 (個別)

盛岡地区かわまちづくり

モニタリング結果

— R3 年度～R4 年度 —

※R4 年 12 月結果まで

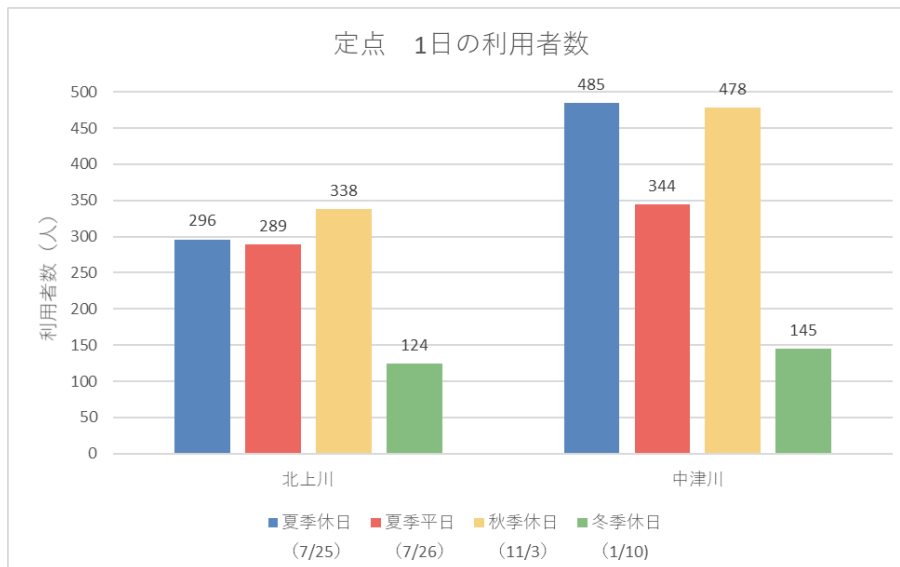
No.1 水辺の国勢調査【利用実態調査】に準じた調査

モニタリング指標	利用者数、利用状況写真	
調査手法	水辺の国勢調査【利用実態調査】に準じた現地調査	
調査・事業の枠組み	かわまちモニタリング調査	
調査主体	河川管理者	
調査時期・頻度または回数	7/25(日)、26(月)、11/3(水・祝)、1/10(月・祝)・年4回	
かわまちの 取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	—

R3 モニタリング結果

《定点調査の枠組み》

- ・2時間ごとに利用者数をカウントし、足し合わせて1日の利用者数とする
(北上川：不来方橋～夕顔瀬橋、中津川：毘沙門橋～富士見橋)

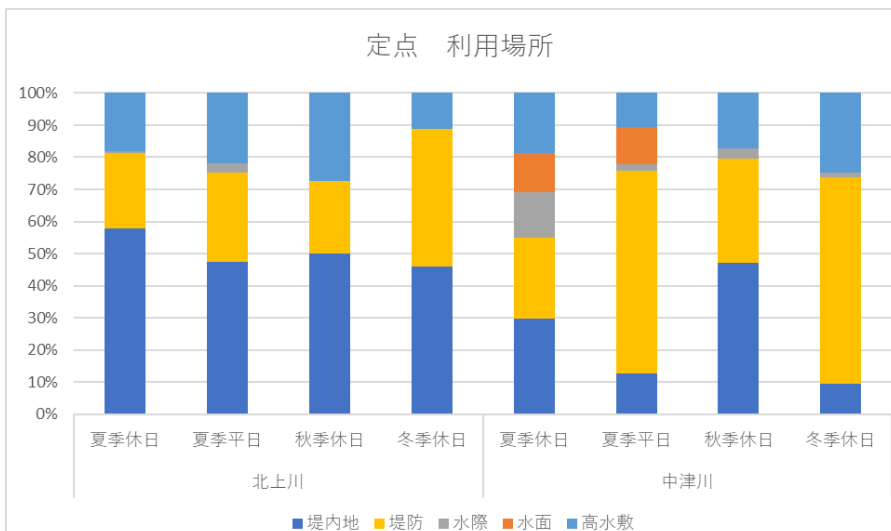


《1日の利用者数》

- ・すべての調査日において、北上川より中津川の利用者の方が多い
- ・夏季・秋季の利用者が多い

《利用場所》

- ・北上川：堤内地（木伏緑地）の利用が半数前後を占めた
- ・中津川：水際および水面の利用もあり、より多様な利用がある



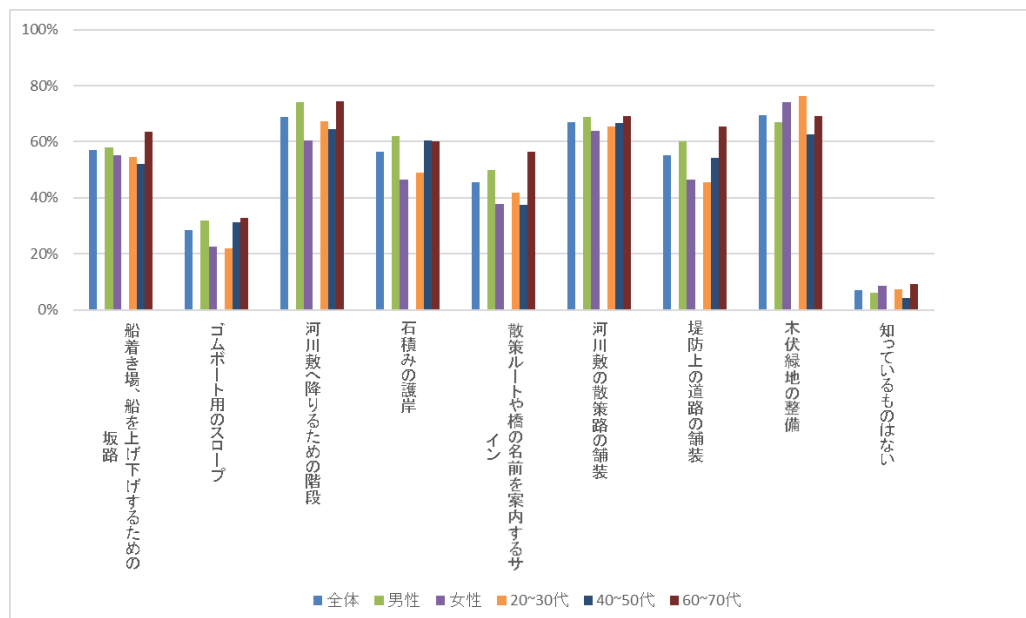
No.2 web アンケート

モニタリング指標	市民の認知度、利用者意向	
調査手法	web アンケート	
調査・事業の枠組み	かわまちモニタリング調査	
調査主体	河川管理者	
調査時期・頻度または回数	2021年10月・年1回	
かわまちの 取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	サケ、イベント

R3 モニタリング結果

《北上川》

Q.北上川沿いの次の整備のうち、知っているものを選択してください。（いくつでも）



- ・ 整備施設・イベントの認知度は、20～30代で低く、60～70代で高い傾向がみられたが、木伏緑地周辺では、より若い年代の認知度が高い傾向がみられた。

Q.石積み護岸の整備について、どのように感じますか。
（とても良い 良い 普通 やや悪い 悪い の5段階評価）



[画像を拡大]



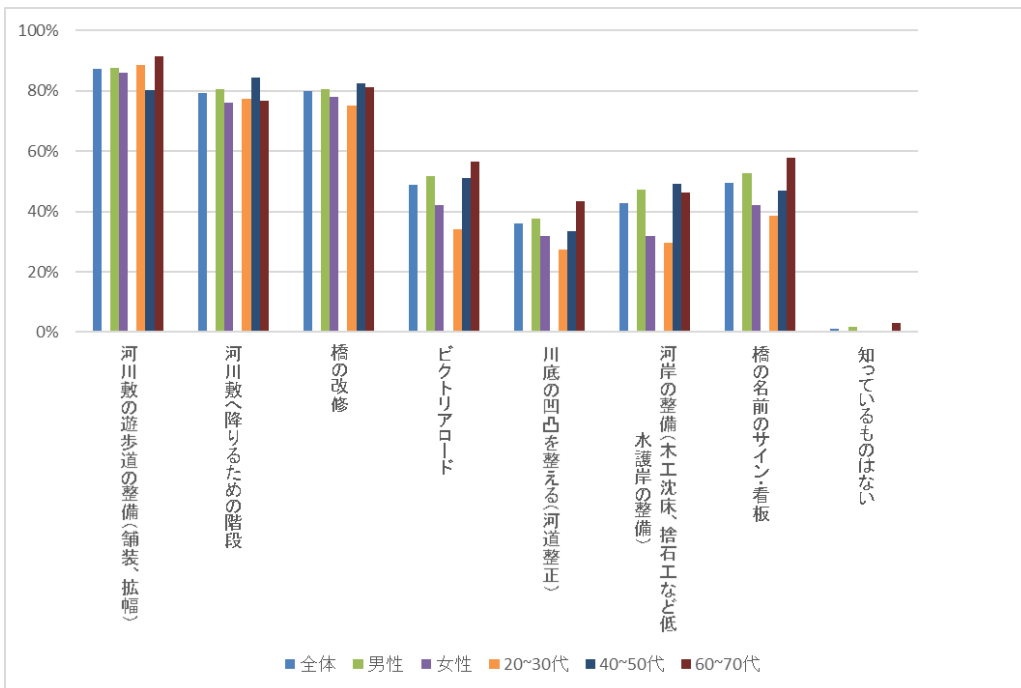
[画像を拡大]

←アンケート画面

- ・ 石積み護岸の整備は、全体の70%が「とても良い」「良い」と回答した。

《中津川》

Q.中津川沿いの次の整備のうち、知っているものを選択してください。(いくつでも)



- ・ 整備施設・イベントの認知度は、20～30代で低く、60～70代で高い傾向がみられた。
- ・ サケの遡上は、9割以上で認知があったが、年代が若くなるにつれて、見に行ったことがある人の割合が減少していた。

河川敷の遊歩道の整備 (舗装、拡幅)

1. [画像を拡大]

河川敷へ降りるための階段

2. [画像を拡大]

橋の改修

3. [画像を拡大]

ピクトリアロード

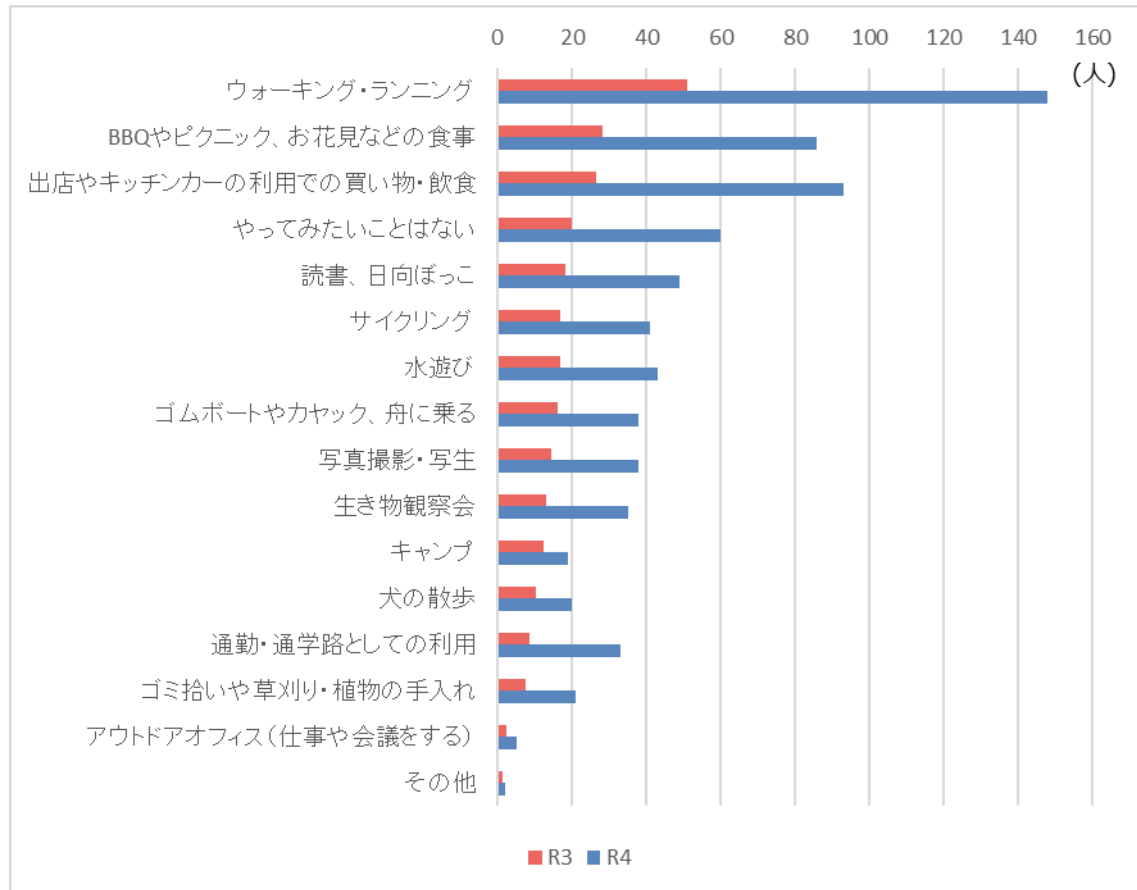
4. [画像を拡大]

アンケート画面→

No.2 web アンケート

R4 モニタリング結果

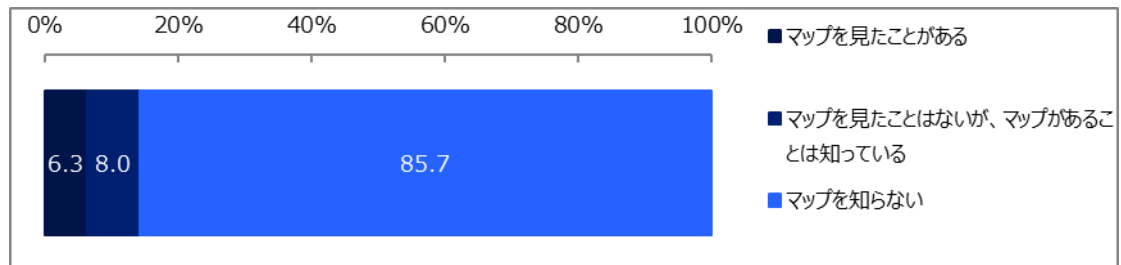
Q.今後、北上川・中津川でやってみたいこと



・R3 年度と R4 年度で同じ質問を設定したところ、全体的に利用意向がある人が増加している。一方、各選択肢の人気順については、ほとんど変化がない。

(モニタリング No.追1 と関連)

Q.パンフレット「盛岡かわまちづくり～季節の音巡りマップ～」をご存じですか。



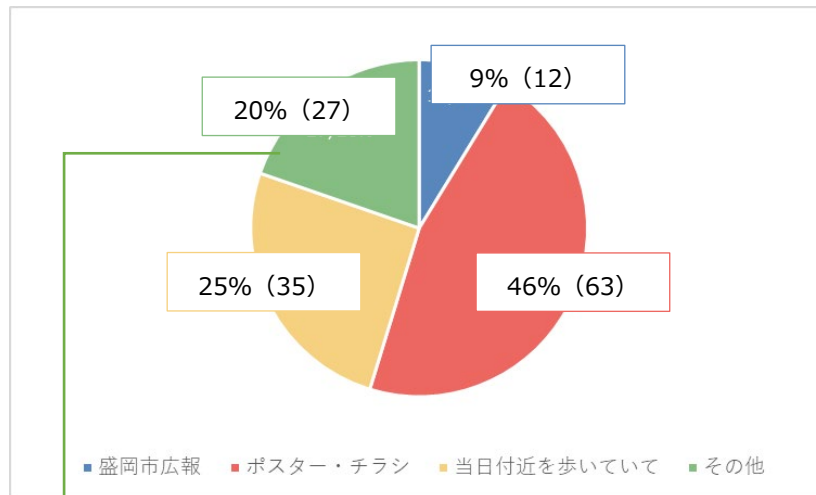
・今年度の取り組みに対する認知度等も調査した。認知度について、向上の余地があることがわかった

No.2-2 対面アンケート

R4 モニタリング結果

・北上川フェスタにおいて、イベント参加者の感想等を収集できる機会があったため、イベント自体に関する感想や河川の利活用全体に関わる内容（web アンケートと共通）について、対面形式のアンケートを行って調査した。

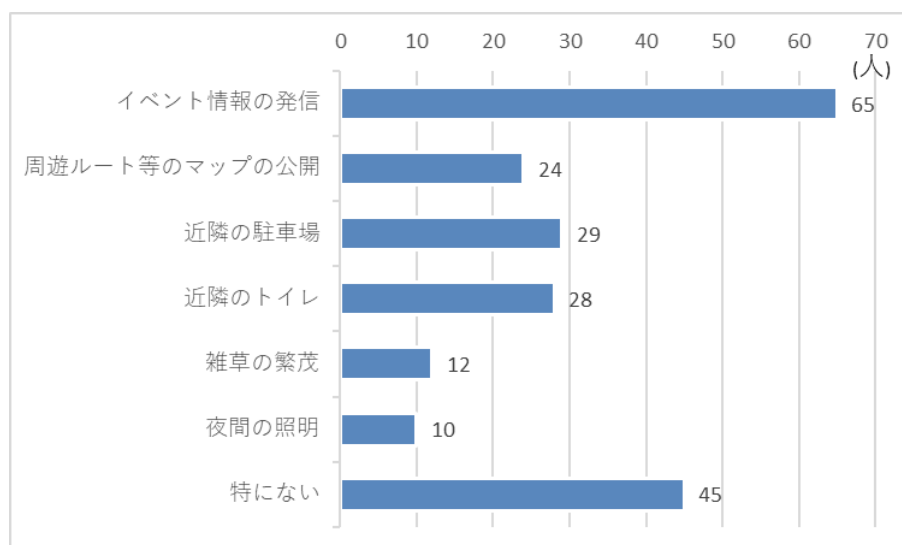
Q4. 来場のきっかけ (n=130)



その他

インターネット（ホームページ、ブログ、SNS）（8票）、知人等の紹介（6票）、ラジオ（2票）、駅前（2票）、自分も関係者（2票）、看板（1票）、のろし（1票）

Q.15 今後、北上川・中津川沿いを利用しやすくするために、改善したほうがよい点がありますか。(n=140)

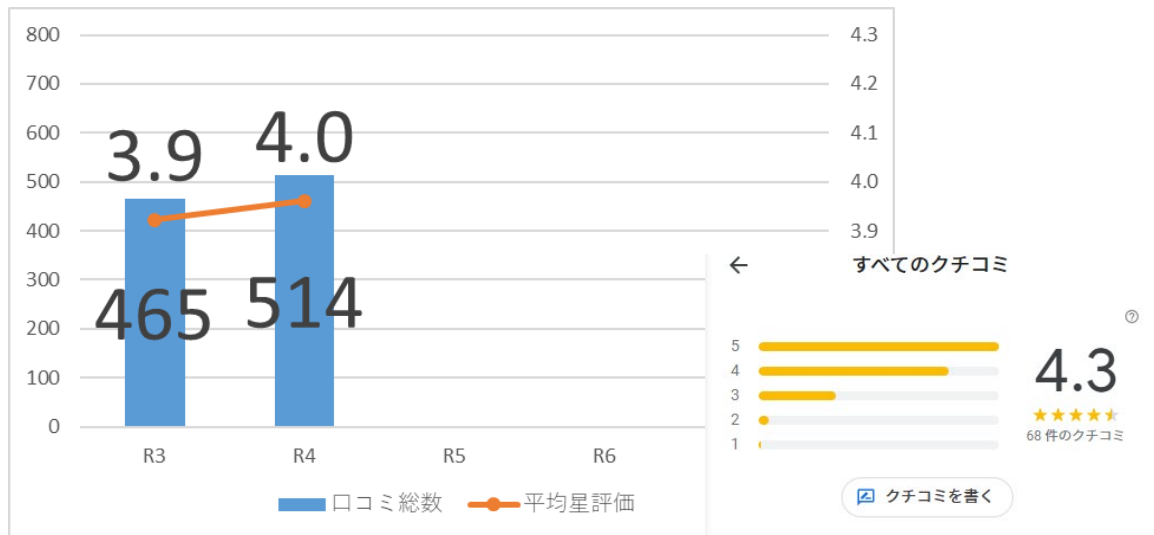


No. 3 SNS 投稿および web 情報

モニタリング指標	SNS の投稿およびリアクション数、口コミ数・内容など	
調査手法	web 検索	
調査・事業の枠組み	かわまちモニタリング調査	
調査主体	河川管理者	
調査時期・頻度または回数	任意・年 4 回	
かわまちの 取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	サケ、イベント、活動団体

R3-R4 モニタリング結果

《Google マップの口コミ》



- ・ かわまちづくり対象区間の橋梁（人道橋含む）の口コミ総数、平均星評価共に伸びており、堅調に推移している。
- ・ 口コミから自動でピックアップされるキーワード（右図の赤枠）は、事業や取り組みに関連したものが多く挙がっている

（出典：Google マップ）



《SNS 投稿キャンペーン》

- ・過年度の検討において、イベント・事業の PR、web を活用した情報発信に課題があることが明らかになっており、web を活用した PR を試行した。
- ・共通ハッシュタグ「#ミズベリング盛岡」を設定し、盛岡の水辺の利活用風景を SNS でシェアする呼びかけを行った。



各 SNS における投稿件数
(河川管理者によるものを含む)

Twitter	8 件
Facebook	2 2 件
Instagram	1 件
YouTube	0 件



盛岡のミズベリングの最新情報は Facebook
 もりおか北上川・中津川ミズベリングイベント情報
 で検索



No.追1 かわまちづくり PR マップ

モニタリング指標	配布数	
調査手法	冊子配布情報を収集・整理する	
調査・事業の枠組み	かわまちモニタリング調査	
調査主体	河川管理者	
調査時期・頻度または回数	おおよそ冬頃・年1回	
かわまちの 取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	サケ、イベント

R4 モニタリング結果

- ・かわまちづくりのPRのため、R4年度に新たに作成し1万部印刷した「盛岡かわまちづくり～季節の音巡りマップ～」について、R4年12月時点の配布状況を次のとおりとりまとめている。
- ・R4年度に印刷した約半分を配布した。

R4年度	印刷数	10,000
	残部	4,531
周辺施設	おでっ窓	300
	おでっ窓	1,000
	おでっ掲示板	125
	歴史文化館	300
	歴史文化館	1,000
	盛岡駅観光案内所	300
関係者	もりおか町家物語館	300
	懇談会メンバー	11
	勉強会メンバー	28
	岩手河川国道事務所玄関	50
	岩手河国盛岡出張所	50
	盛岡市観光課	600
	盛岡市公園みどり課	300
	かわまち舟運実行委員会	50
	岩手県観光協会	50
学校	沿川小学校6年生	708
イベント	第5回北上川フェスタ(6/18)	100
	木伏開業3周年イベント(9/10)	97
	祝バスセンター開業舟運(10/8)	100

No. 4 河川巡視に併せた利用者カウント調査

モニタリング指標	利用者数	
調査手法	河川巡視に併せて現地でカウント調査を行う	
調査・事業の枠組み	河川巡視	
調査主体	河川管理者	
調査時期・頻度または回数	河川巡視に準ずる・概ね隔週	
かわまちの 取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	—

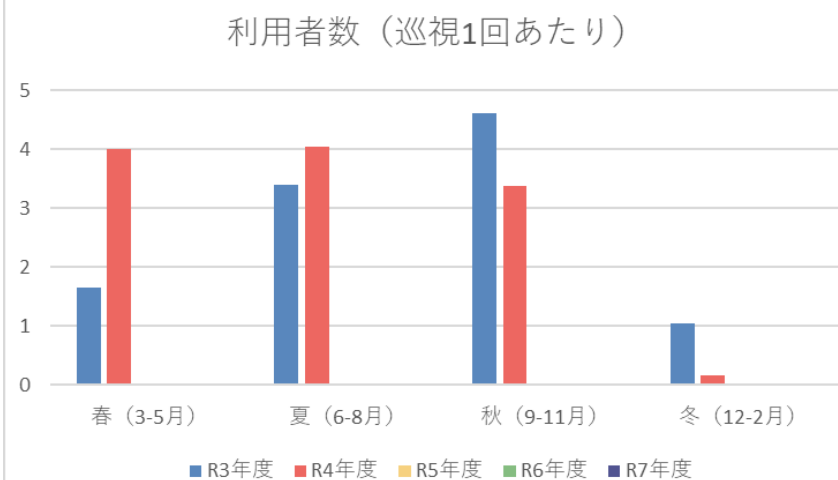
R3-R4 モニタリング結果

《北上川》

巡視回数

R3：69回

R3：54回

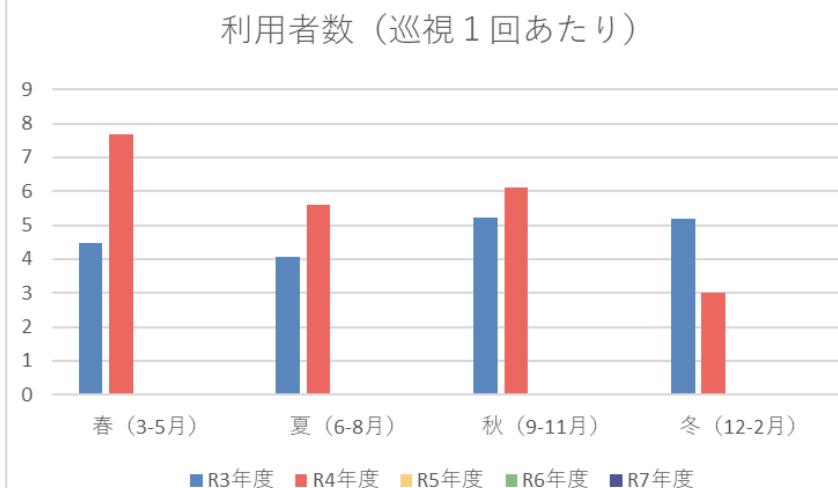


《中津川》

巡視回数

R3：72回

R4：52回



※R4年度・春は4-5月分のみ、R4年度・冬は12月分のみ
北上川・秋を除き、R3年度よりもR4年度の利用者が多い。

■次年度以降のモニタリング

2週間に1回程度で行う河川巡視に併せてカウントすることで、データ数を多く確保できるため、季節ごとの平均値を算出することができる。日常利用の状況を捉える主たるモニタリングとして今後も継続して実施する。

No. 5 河川巡視に併せた利用状況写真撮影

モニタリング指標	利用状況写真	
調査手法	河川巡視に併せて現地で利用状況の写真撮影を行う	
調査・事業の枠組み	河川巡視	
調査主体	河川管理者	
調査時期・頻度または回数	河川巡視に準ずる・概ね隔週	
かわまちの 取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	—

R3-R4 モニタリング結果

・ 日常利用の様子を撮影した。



開運橋 (2021/12/20 撮影)



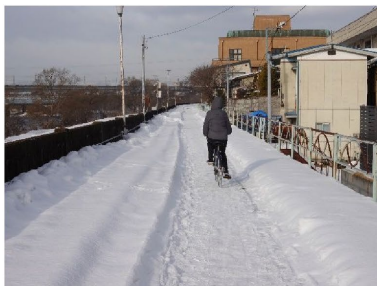
明治橋上流 (2021/9/7 撮影)



明治橋下流 (2021/11/29 撮影)



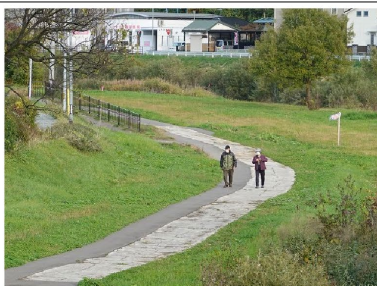
山賀橋上流 (2022/1/19 撮影)



明治橋上流 (2022/1/19 撮影)



中の橋 (2021/9/30 撮影)



山賀橋上流 (2021/10/27 撮影)



与の字橋上流 (2022/1/5 撮影)



開運橋上流 (2022/4/5 撮影)



船着場付近の日常利用

開運橋上流 (2022/4/18 撮影)



明治橋上流 (2022/4/21 撮影)



船着場付近の日常利用

明治橋上流 (2022/5/24 撮影)



スケートボード

明治橋下流 (2022/6/8 撮影)



オフロードバイク

明治橋上流 (2022/11/2 撮影)



近隣の園児

中の橋 (2022/4/22 撮影)



イベント準備
(チャグチャグ馬コ)

中の橋 (2022/6/6 撮影)



サケのぼりを撮影

中の橋 (2022/11/4 撮影)



犬の散歩

与の字橋 (2022/4/22 撮影)



岩大理工学部

与の字橋 (2022/6/6 撮影)



雨天でも利用者あり

与の字橋 (2022/6/24 撮影)



魚釣り

与の字橋 (2022/7/6 撮影)

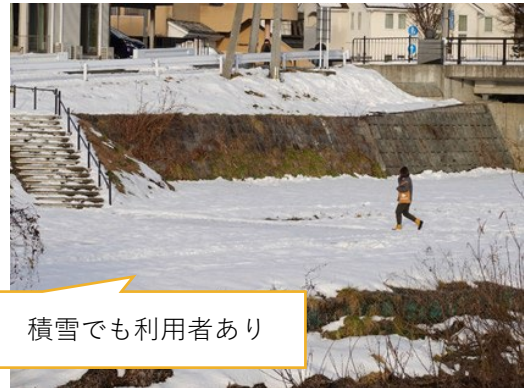


山賀橋 (2022/4/22 撮影)

工事による通行止め、出水による高水敷冠水の期間もあった



山賀橋 (2022/12/26 撮影)



積雪でも利用者あり

山賀橋 (2022/12/26 撮影)

No. 6 河川巡視に併せた整備状況写真撮影

モニタリング指標	石積護岸の雑草被覆状況写真、河道の大型樹木や岩、堆砂など状況写真	
調査手法	河川巡視に併せて現地で利用状況の写真撮影を行う	
調査・事業の枠組み	河川巡視	
調査主体	河川管理者	
調査時期・頻度または回数	河川巡視に準ずる・概ね隔週	
かわまちの	ハード	景観（石積）
取り組み	ソフト	イベント

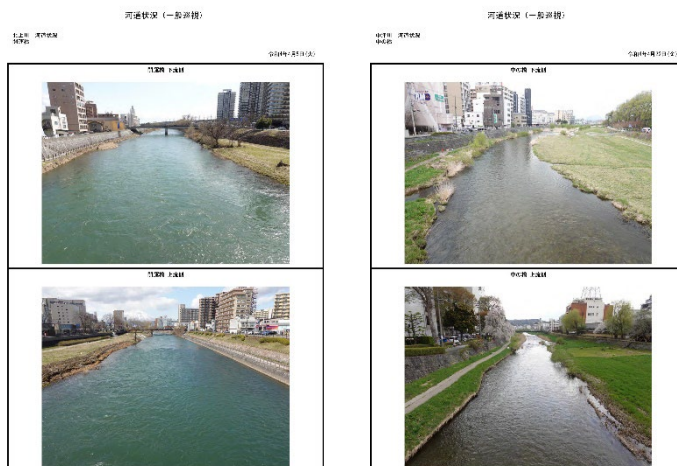
R3-R4 モニタリング結果

《石積み護岸》



- ・ 明治橋左岸上下流 7 定点をモニタリング
- ・ 雑草の被覆はみられなかった

《流下の支障物》



- ・ 河道の様子について、5 箇所（明治橋、開運橋、中の橋、与の字橋、山賀橋）をモニタリング
- ・ 利活用上支障となる流下支障物はなかった

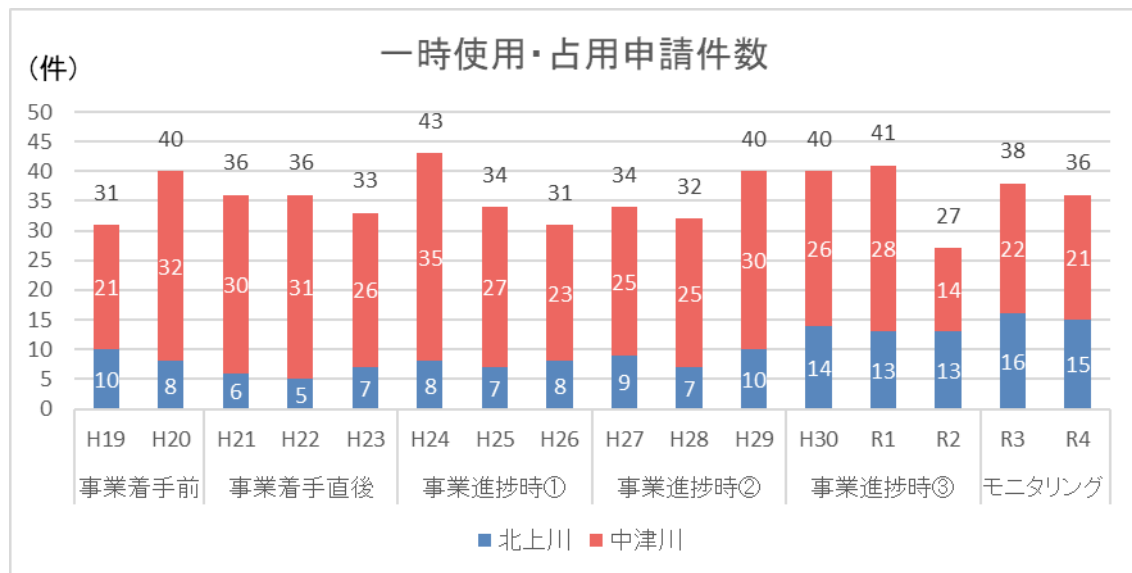
No. 7 一時使用・占用申請書類

モニタリング指標	イベント数、イベント内容、参加者数、イベント時期	
調査手法	一時使用・占用申請書類を収集・整理する	
調査・事業の枠組み	イベント等による河川の占用調整（管理）	
調査主体	河川管理者	
調査時期・頻度または回数	随時	
かわまちの 取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	イベント、活動団体

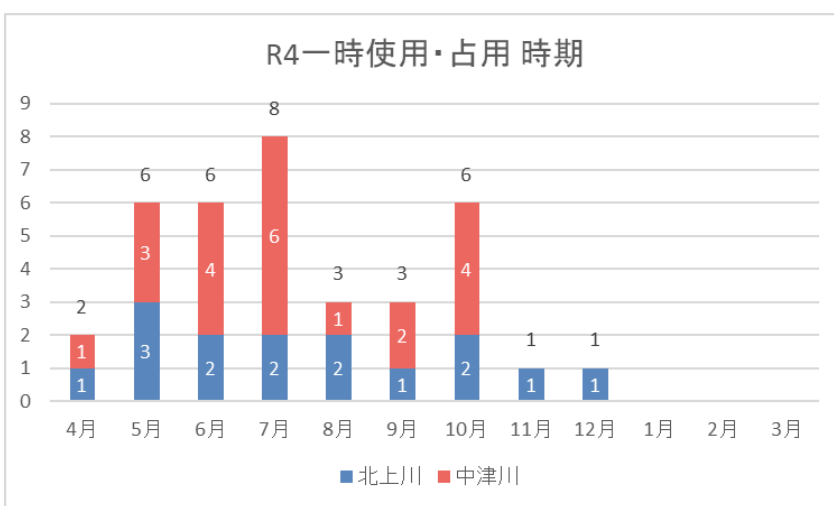
R3-R4 モニタリング結果

《件数》

※中津川・北上川にまたがる申請は各1件としてカウント



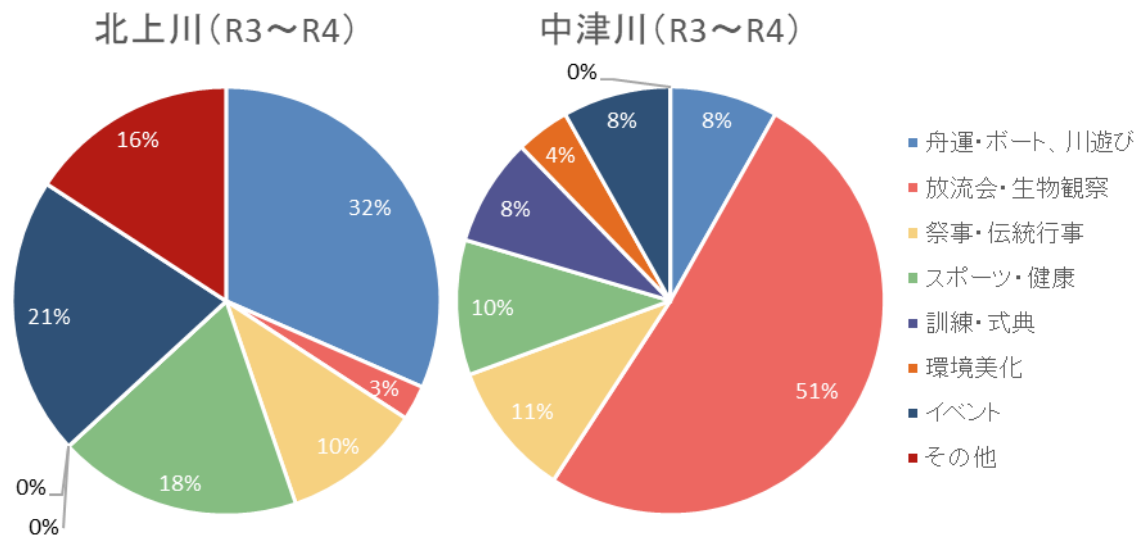
- ・一時使用・占用申請件数から、R3-R4年度のイベント等の河川区域の利用状況は、R2年度の新型コロナウイルスの影響による減少から回復傾向にある。
- ・北上川はH30年度の舟運社会実験開始、R1年度の木伏緑地オープン等により申請件数が15件前後に増加している
- ・中津川は事業進捗時に比べ、近年の申請件数が少なくなっている。



《利用時期》

- ・夏の暑さと冬の寒さを避けた時期の利用が多い。
- ・毎年決まった時期に開催されるイベント等が多いため、この傾向は継続してみられている。

《内容》



一時使用・占用内容の分類

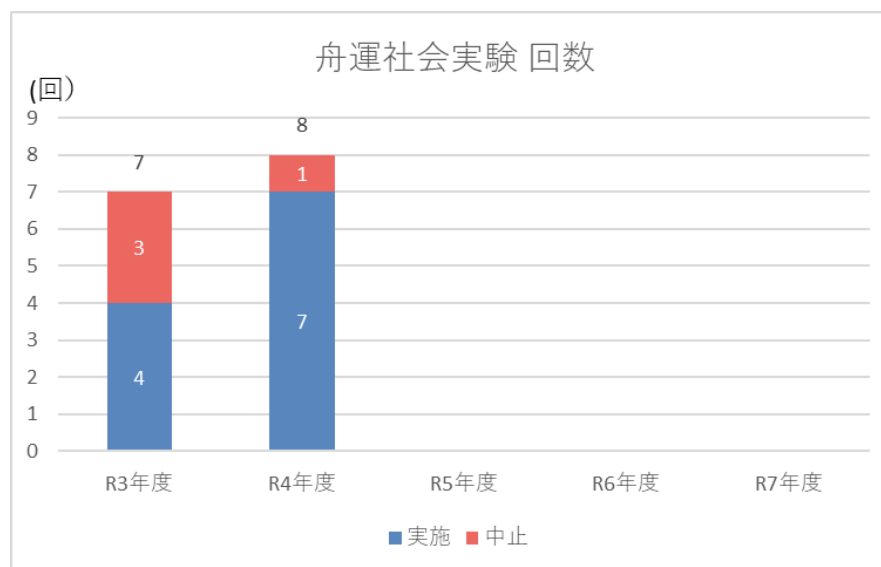
ジャンル	内容
舟運・ポート、川遊び	舟運、ゴムボート下り、川遊び
放流会・生物観察	稚魚放流会、生物調査
祭事・伝統行事	祭事、チャグチャグ馬コ
スポーツ・健康	ウォーキング、マラソン
訓練・式典	消防演習、パトロール出発式
環境美化	ごみ拾い
イベント	販売会など、その他イベント
その他	撮影、照明社会実験

- ・北上川は川下りやスポーツなどアクティブな利用、イベントやその他（撮影など）のような商業的な利用が多かった。
- ・中津川は放流会・生物観察のような自然環境の豊かさを生かした利用が多かった。放流会や親子向けの観察会のほか、学校教育・研究や研修のフィールドとしての利用、釣り教室の開催が見られ、多様な世代が自然に触れるフィールドとして利用していることがわかった。

No.8 舟運社会実験実施状況

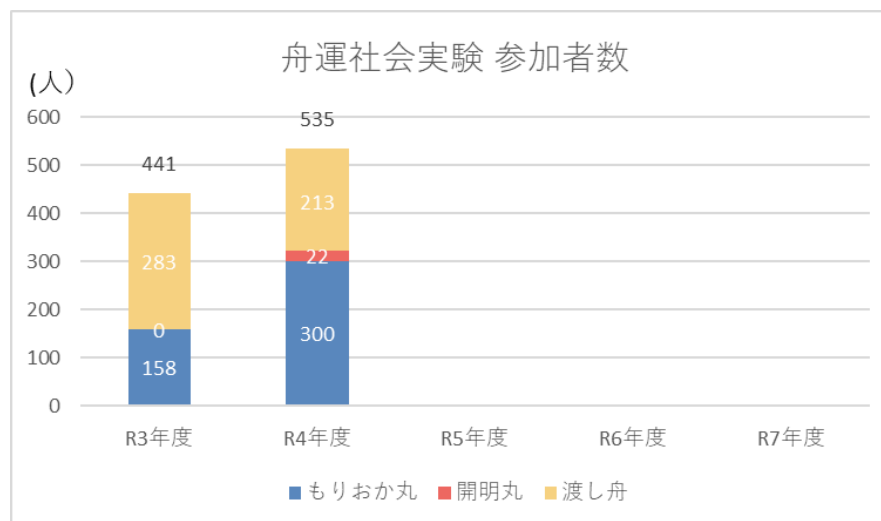
モニタリング指標	実施回数、利用者数	
調査手法	舟運実験報告書等を収集・整理する	
調査・事業の枠組み	舟運事業	
調査主体	盛岡市（公園・みどり課）	
調査時期・頻度または回数	12月・年1回	
かわまちの	ハード	親水（船着場、スロープ）
取り組み	ソフト	イベント

R3-R4 モニタリング結果



《回数》

R3 年度は中止(新型コロナウイルスによるものを含む)が多かったが、R4 年度は計 7 回実施された。



《参加者数》

R4 年度は、計 535 人が参加した

No.9 サケのぼり

モニタリング指標	設置数	
調査手法	サケのぼり設置情報を収集・整理する	
調査・事業の枠組み	サケを活かしたまちおこし	
調査主体	河川管理者	
調査時期・頻度または回数	11月・年1回	
かわまちの	ハード	—
取り組み	ソフト	サケ

R3-R4 モニタリング結果

・R3年度およびR4年度は、国土交通省岩手河川国道事務所が5か所に設置した。

令和4年度 中津川「サケのぼり」設置(河川愛護醸成PJ)

【目的】サケが戻ってくるこの時期を生かし、民間から提案のあった「サケのぼり」を活用し、河川愛護醸成を図ることを目的に「サケのぼり設置」と「河川環境活動PR」を行うものである。(令和元年から実施)

【設置箇所】5箇所



《設置箇所》

- ・ 毘沙門橋右岸上流
- ・ 中の橋右岸下流
- ・ 与の字橋右岸下流
- ・ 山賀橋上流右岸
- ・ 浅岸橋上流右岸

令和4年度 中津川「サケのぼり」設置状況

設置箇所: 中津川 毘沙門橋右岸上流
設置日: 令和4年10月12日(水)PM



設置箇所: 中津川 中の橋右岸下流
設置日: 令和4年10月12日(水)PM



No.10 冊子「もりおか中津川サケ物語」配布状況

モニタリング指標	配布数	
調査手法	冊子配布情報を収集・整理する	
調査・事業の枠組み	サケを活かしたまちおこし	
調査主体	河川管理者、盛岡市（公園・みどり課、観光課）	
調査時期・頻度または回数	1月・年1回	
かわまちの	ハード	—
取り組み	ソフト	サケ

R3-R4 モニタリング結果

- ・R2年度に改訂を行い、新たに1万部増刷したサケに関する冊子「もりおか中津川サケ物語」について、R4年12月時点の配布状況を次のとおりとりまとめている。
- ・中津川沿川の小学校5年生および岩手大学附属小学校3年生・5年生への配布を継続して行っている。

R2年度に改訂版を
かわまち勉強会事務局
で10,000部印刷

		盛岡市 公園みどり課	盛岡市 観光課	冊子作成 ワークショップ メンバー	国土交通省 岩手河川 国道事務所	岩手県 河川課	岩手県 水産振興課
R2	改定版配分数	250	3,000	3,846	2,854	25	25
R4	残部	105	0	—	673	—	—

R2	沿川学校の児童・生徒				728			
R2-3	課、おでつて、歴史文化館窓口		1,250					
	児童センター 他		1,750					
	課窓口、公園愛護会研修会	75						
R3	沿川学校の児童・生徒				745			
R4	沿川学校の児童・生徒				708			
	課窓口	70						
年度	配布先	配布部数						

No.11 冊子「もりおか中津川サケ物語」活用状況

モニタリング指標	活用状況アンケート	
調査手法	主な配布先である沿川小学校を対象にアンケート実施する	
調査・事業の枠組み	サケを活かしたまちおこし	
調査主体	河川管理者	
調査時期・頻度または回数	一・二～三年に1回	
かわまちの	ハード	—
取り組み	ソフト	サケ

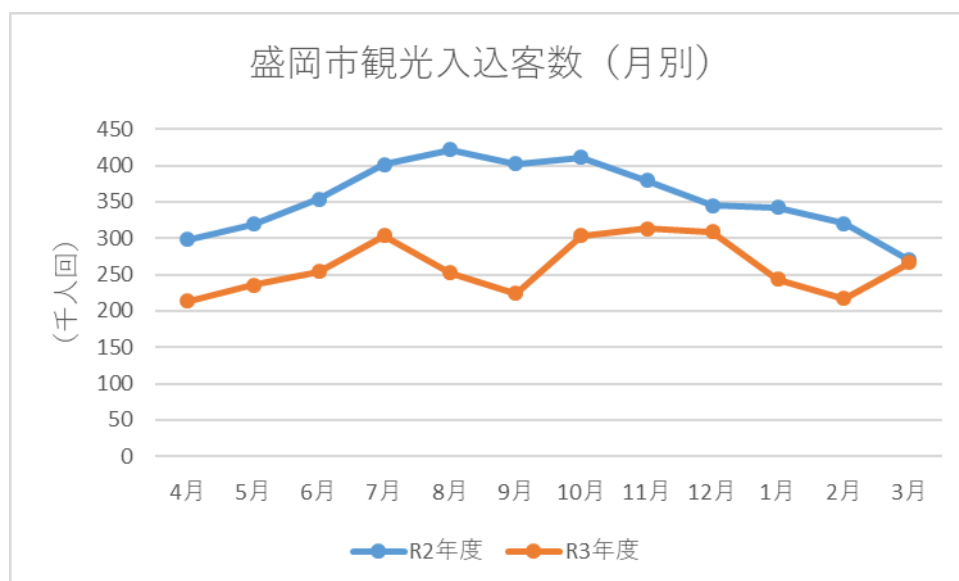
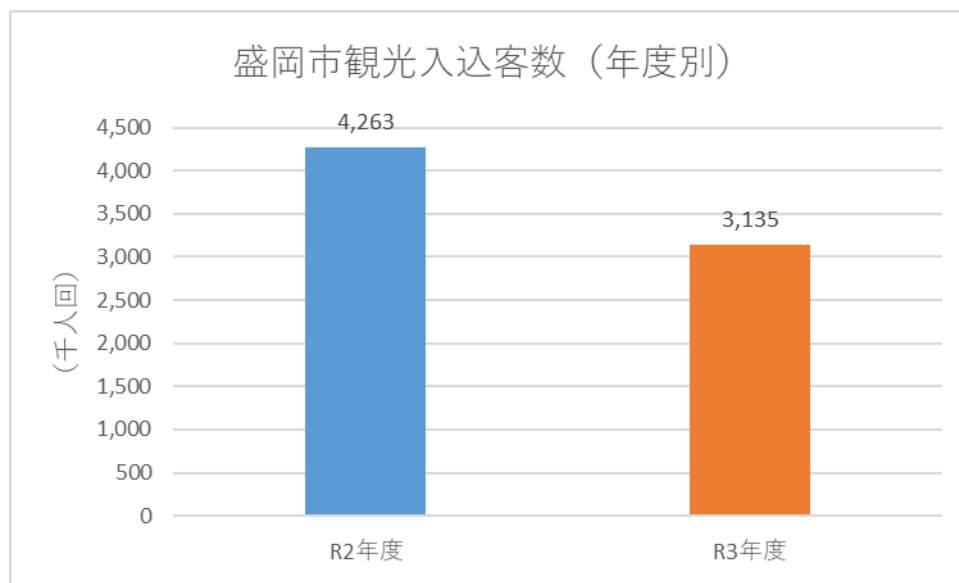
R3-R4 モニタリング結果

- ・ R4 年度は、R3 年度に続き活用状況に関するアンケートを実施しなかった。
- ・ なお、「もりおか中津川サケ物語」は平成 29 年に発行し、令和 2 年に改訂および増刷されている。前回アンケートは改定前の令和元年度に実施している。

No.12 盛岡市観光入込客数

モニタリング指標	盛岡市観光入込客数	
収集手法	盛岡市よりデータを提供いただく	
調査・事業の枠組み	盛岡市 統計調査	
調査主体	盛岡市（観光課）	
収集時期・頻度または回数	12月・年に1回	
かわまちの 取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	サケ、イベント、活動団体

R3-R4 モニタリング結果

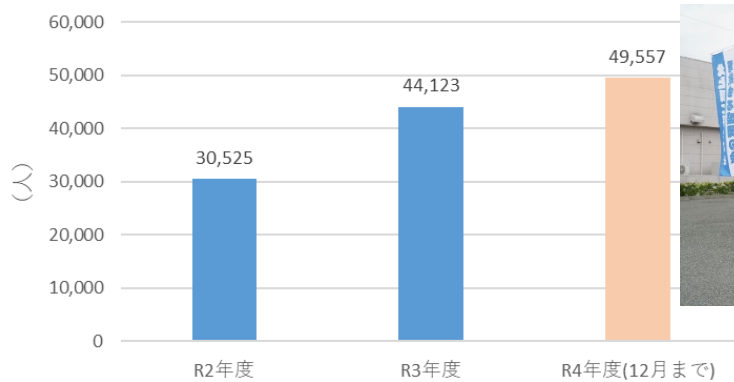


No.13 沿川集客施設の利用状況

モニタリング指標	もりおか町家物語館利用者数、御蔵利用者数	
収集手法	盛岡市よりデータを提供いただく	
調査・事業の枠組み	盛岡市 施設管理	
調査主体	盛岡市（観光課）	
収集時期・頻度または回数	12月・年に1回	
かわまちの 取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	イベント

R3-R4 モニタリング結果

もりおか町家物語館 入館者数（年度別）

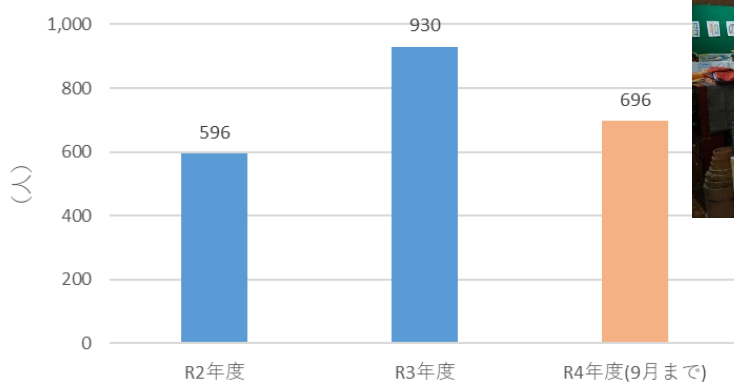


▼北上川フェスタ開催時の様子（R3.6.19撮影）



▼舟運に関する展示（R3.6.19撮影）

明治橋際の御蔵 利用者数（年度別）

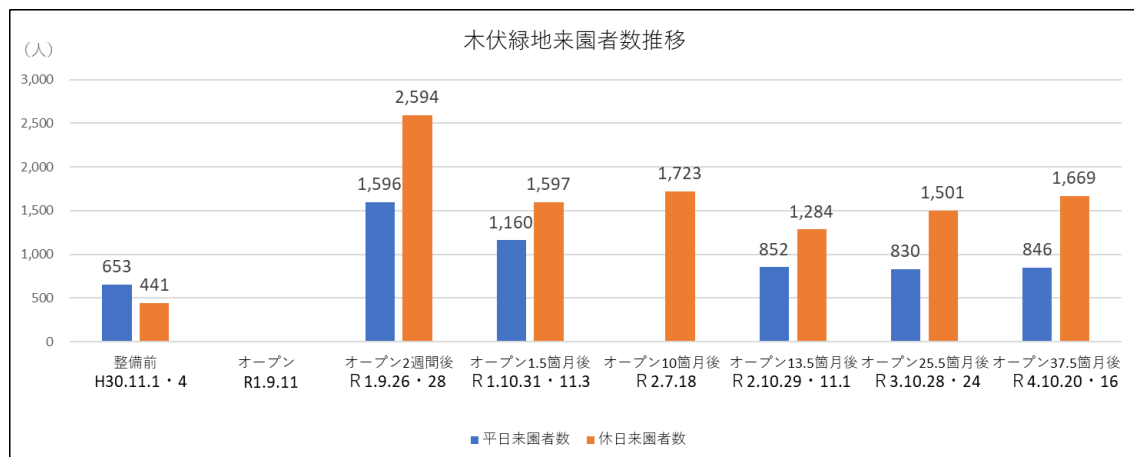


No.14 木伏緑地の利用者数

モニタリング指標	木伏緑地の利用者数	
収集手法	盛岡市実施の利用者数調査結果を提供いただく	
調査・事業の枠組み	盛岡市 施設管理	
調査主体	盛岡市（公園みどり課）	
収集時期・頻度または回数	1月・年に1回	
かわまちの	ハード	親水（船着場、スロープ）
取り組み	ソフト	
		—

R3-R4 モニタリング結果

・盛岡市が木伏緑地の整備効果のモニタリングとして行っている利用者調査の結果を収集した。



《調査の枠組み》

調査日：R4/10/16（日）、10/20（木）

調査時間：7:00～19:00（計12時間）

調査方法：木伏緑地の入り口3か所で敷地内に入る人の数をカウントする

No.15

木伏緑地のイベント開催状況

モニタリング指標	木伏緑地のイベント数および参加者数	
収集手法	盛岡市よりデータを提供いただく	
調査・事業の枠組み	盛岡市 施設管理	
調査主体	盛岡市（公園みどり課）	
収集時期・頻度または回数	1月・年に1回	
かわまちの	ハード	親水（船着場、スロープ）
取り組み	ソフト	イベント、活動団体

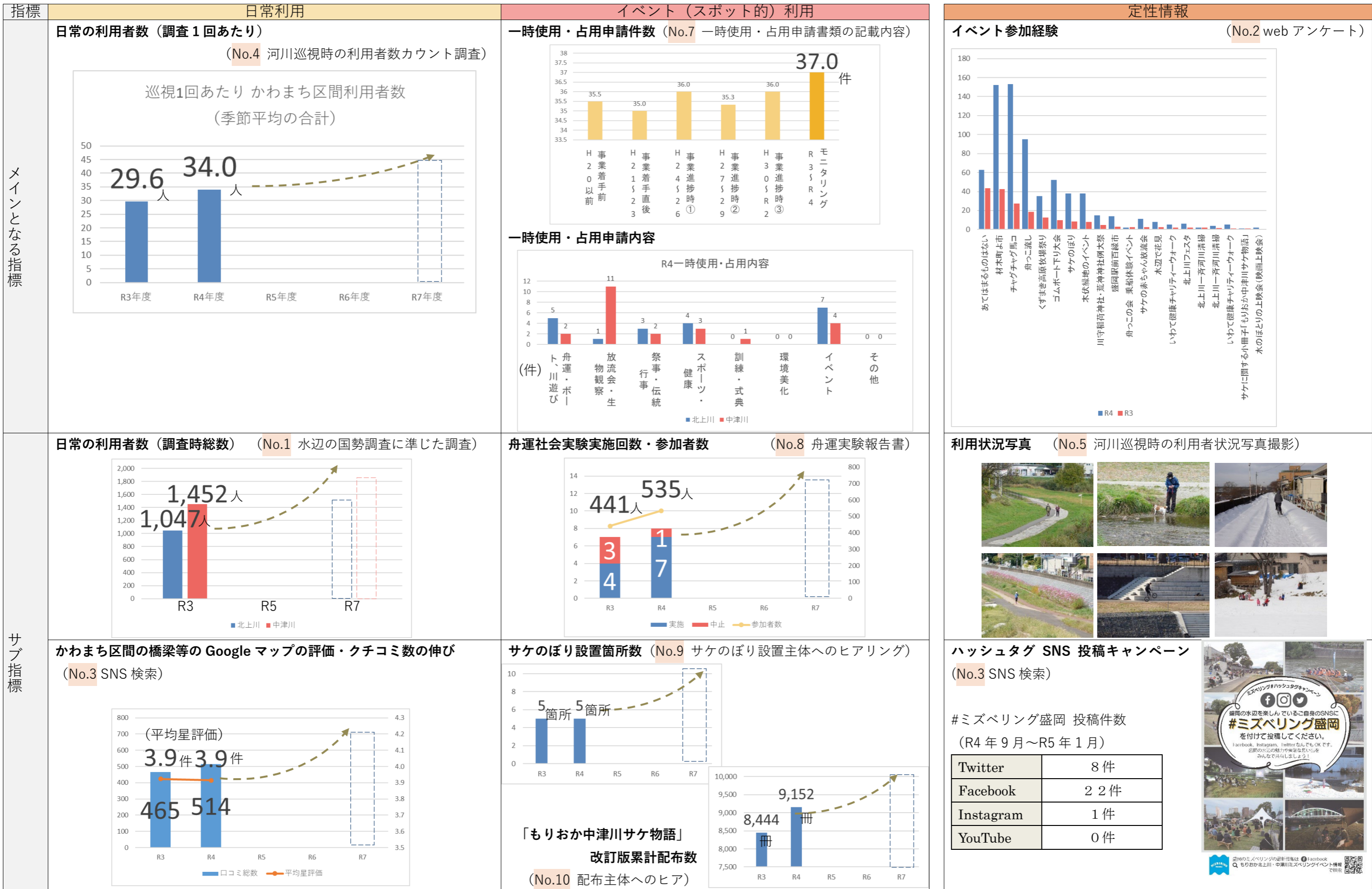
R3-R4 モニタリング結果

- ・盛岡市および木伏緑地 Park-PFI 事業者イベント実施状況をヒアリングした。
- ・R4年度はこれまでに比べ、木伏緑地のイベントが多く開催された。

これまでに開催したイベントの開催状況

No.	年度	開催日	イベント名	参加者数（人）	備考
1	R1	2019/9/9(月)	木伏緑地オープニングイベント (レセプション)	240	招待者：約120人、 一般：約120人
2	R2	2020/10/17(土) ～18(日)	木伏緑地1周年記念イベント (KIPPUSHI 1st Anniversary Festival)	9,200	河川敷でのアクティビ ティ利用者：未集計
-	R3	(開催なし)			
3	R4	2022/4/23(土)	Homies Kitchen in KIPPUSHI	70	
4		2022/7/2(日)	あつ盛フェスタ	200	
5		2022/7/8(金)	水辺で乾杯	50	
6		2022/9/10(土)	木伏緑地3周年記念イベント (KIPPUSHI 3st Anniversary Festival)	未集計	河川敷でのアクティビ ティ利用者：63人

3. 5年間(R3年度-R7年度)のモニタリング結果の取りまとめイメージ



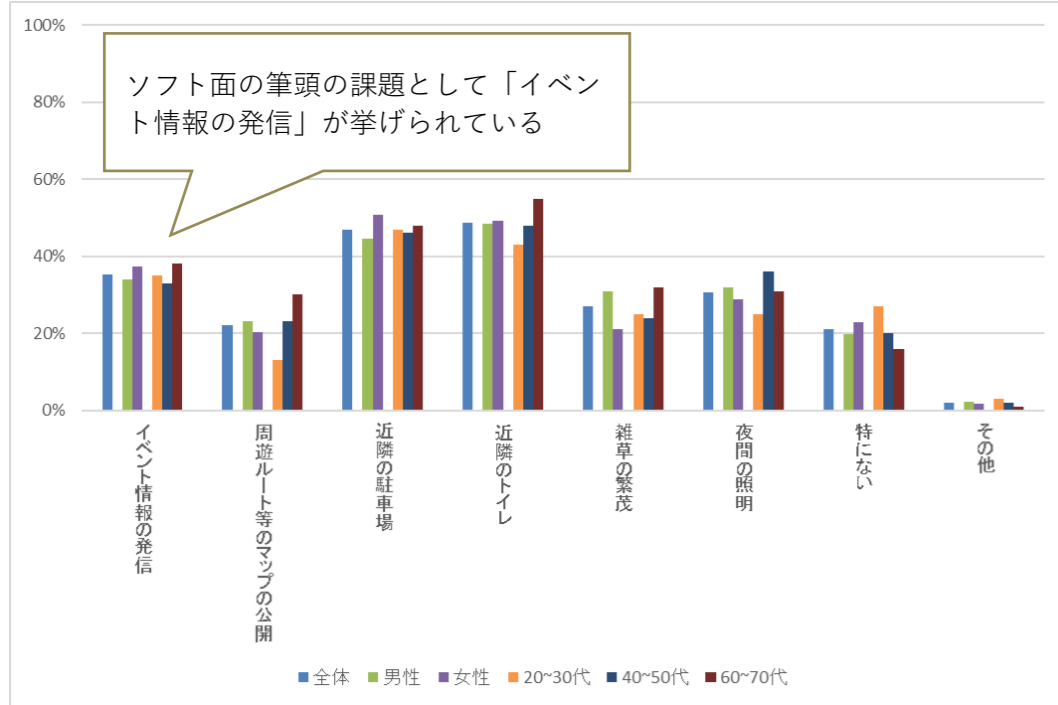
4. モニタリング結果を活用したフォローアップ

これまでの「かわまちづくり計画にそった施設整備」から、「水辺空間の利活用」、「持続的な維持管理」へ引き継いでいくために、モニタリング結果を活用したフォローアップが必要となる。

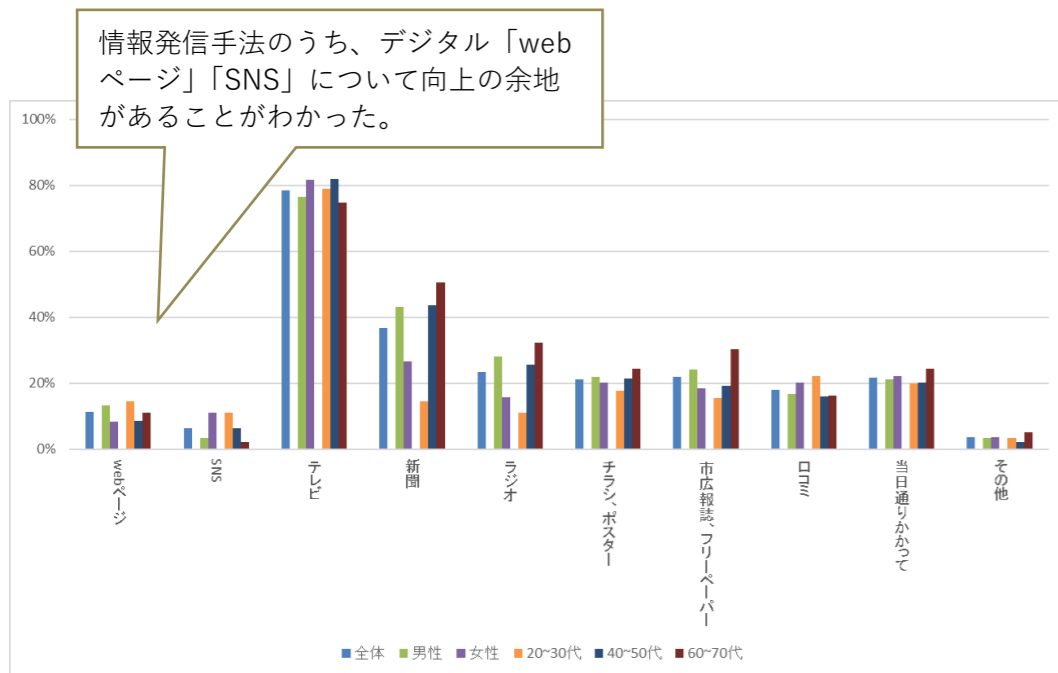
フォローアップテーマ（例）webを活用した情報発信

R3年度の課題把握（web アンケート）

Q4-2. 今後、北上川・中津川沿いを利用する場合、改善が必要な点はありますか。（いくつでも）



Q3-2. 前問で（知っている）と選択した、（近年の北上川・中津川の）イベントや取り組みを何で知りましたか。（いくつでも）



R4年度の取り組み

かわまちづくりのPRのため

Webを活用した情報発信の機運醸成のため

① パンフレット

「盛岡かわまちづくり～音巡りマップ～」の作成、配布（2022.5印刷）



② 「#ミズベリング盛岡」SNS投稿キャンペーン（2022.9～）



③ Facebook グループ「もりおか北上川・中津川ミズベリングイベント情報」の立ち上げ（2022.6）



地元主体での今後の展開のきっかけとして北上川と中津川の連携に向けて

④ 岩手河川国道事務所 web サイトのかわまちづくり関連情報のリニューアル（作業中）



かわまちづくりのPRのため

R4年度のモニタリング

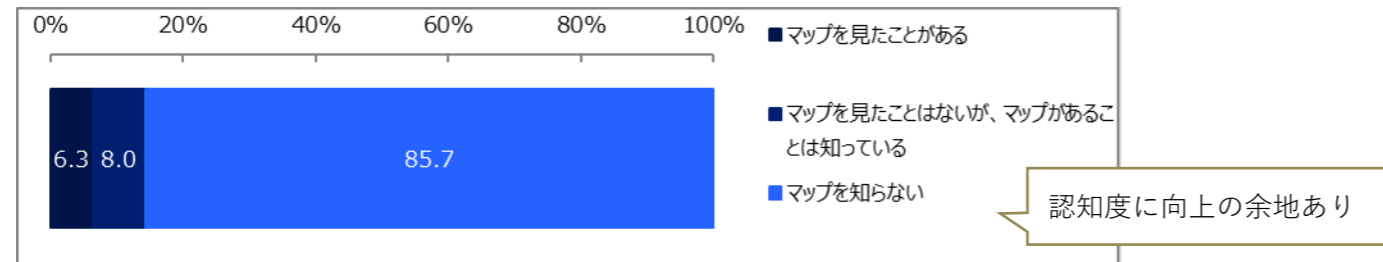
① パンフレット「盛岡かわまちづくり～音巡りマップ～」の作成、配布（2022.5印刷）

web アンケート（モニタリング No.2）

Q11.パンフレット「盛岡かわまちづくり～季節の音巡りマップ～」をご存じですか。

SA

	n	%
全体	300	100.0
1 マップを見たことがある	19	6.3
2 マップを見たことはないが、マップがあることは知っている	24	8.0
3 マップを知らない	257	85.7



**かわまちづくり PR マップ
（モニタリング No.追 1）**

R4 年度配布状況

おでって窓口、歴史文化館には追加配布している

R4年度	印刷数	残部
	10,000	4,531
周辺施設	おでって窓口	300
	おでって窓口	1,000
	おでって掲示板	125
	歴史文化館	300
	歴史文化館	1,000
	盛岡駅観光案内所	300
関係者	もりおか町家物語館	300
	懇談会メンバー	11
	勉強会メンバー	28
	岩手河川国道事務所玄関	50
	岩手河国盛岡出張所	50
	盛岡市観光課	600
	盛岡市公園みどり課	300
	かわまち舟運実行委員会	50
	岩手県観光協会	50
	学校	沿川小学校6年生
イベント	第5回北上川フェスタ(6/18)	100
	木伏開業3周年イベント(9/10)	97
	祝バスセンター開業舟運(10/8)	100

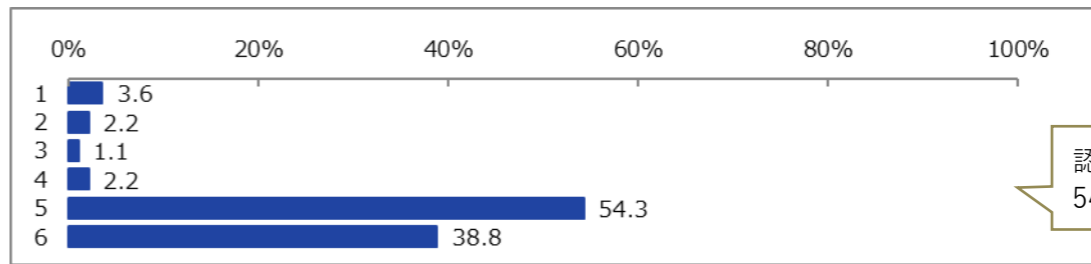
② 「#ミズベリング盛岡」 SNS 投稿キャンペーン（2022.9～）

web アンケート（モニタリング No.2）

Q10.SNSで「#ミズベリング盛岡」を付けて投稿する呼びかけをご存知ですか。（いくつでも）

MA

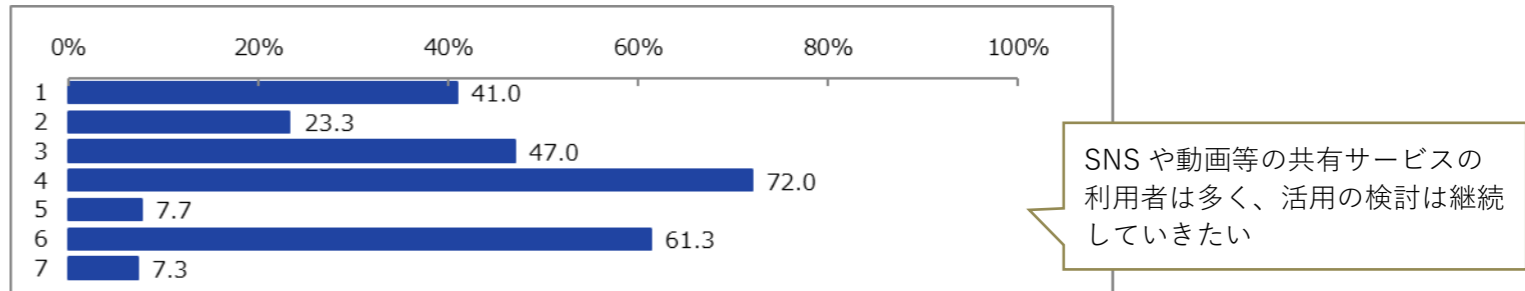
	n	%
全体	278	100.0
1 投稿の呼びかけを知っている/見たことがある	10	3.6
2 「#ミズベリング盛岡」の投稿を見たことがある	6	2.2
3 「#ミズベリング盛岡」で検索したことがある	3	1.1
4 「#ミズベリング盛岡」の投稿がもっと増えれば、自分も投稿してみようと思う	6	2.2
5 知らなかったが、おもしろい取り組みだと思う	151	54.3
6 仕組みがわからない/興味がない	108	38.8



Q9.次のSNSや動画等の共有サービスのうち、日頃、利用しているものを教えてください。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	300	100.0
1 Twitter	123	41.0
2 Facebook	70	23.3
3 Instagram	141	47.0
4 LINE	216	72.0
5 TikTok	23	7.7
6 YouTube	184	61.3
7 利用しているものはない	22	7.3



SNS（モニタリング No.3）

「#ミズベリング盛岡」をつけた投稿の件数

Twitter	8 件
Facebook	2 2 件
Instagram	1 件
YouTube	0 件

今後の広がりが期待される

～ハッシュタグ検討時のポイント～

盛岡：北上川と中津川で共通して使える

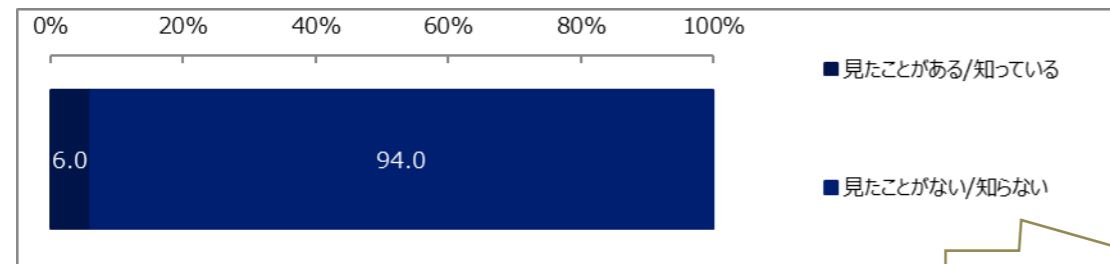
ミズベリング：水辺（かわまちづくり、Park-PFI、民間・個人独自のもの）に関するすべてを対象とする

△未だ“ミズベリング”というキーワードが、一般的に知られているものではない可能性がある

③ Facebook グループ「もりおか北上川・中津川ミズベリングイベント情報」の立ち上げ (2022.6)
web アンケート (モニタリング No.2)

Q13. Facebookの公開グループ「もりおか北上川・中津川ミズベリングイベント情報」を見たことがありますか。
SA

	n	%
全体	300	100.0
1 見たことがある/知っている	18	6.0
2 見たことがない/知らない	282	94.0

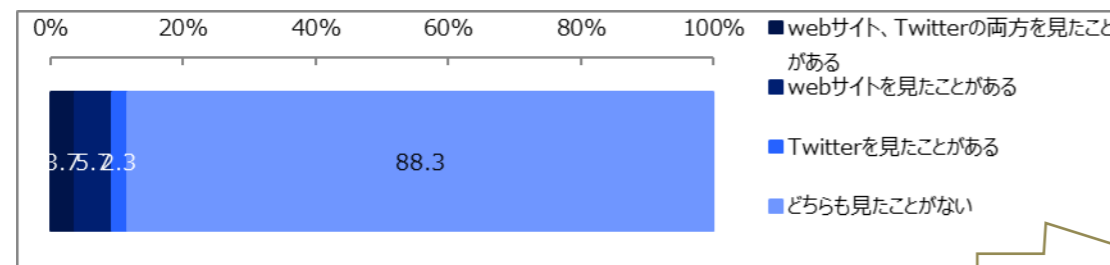


認知度に向上の余地あり
△他 SNS に比べ、Facebook は利用者が少ない

④ 岩手河川国道事務所 web サイトのかわまちづくり関連情報の刷新 (現在、作業中)
web アンケート (モニタリング No.2)

Q12. 岩手河川国道事務所のwebサイトやTwitterで、「かわまちづくり」や「水辺のにぎわいづくり」に関する情報を見たことがありますか (仕事による閲覧を除く)。
SA

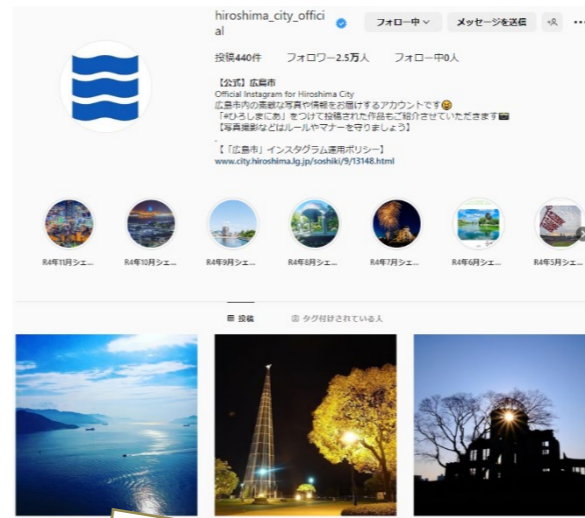
	n	%
全体	300	100.0
1 webサイト、Twitterの両方を見たことがある	11	3.7
2 webサイトを見たことがある	17	5.7
3 Twitterを見たことがある	7	2.3
4 どちらも見たことがない	265	88.3



リニューアル前 (Before) の状況を調査

R5 年度に向けた提案・アイデア

- パンフレット「盛岡かわまちづくり～音巡りマップ～」
 - 盛岡ふるさとガイドで活用する
 - R4 かわまち大賞受賞の記念イベントを開催し、マップを携えての散策を企画する
- 「#ミズベリング盛岡」SNS 投稿キャンペーン
 - 新たに、よりキャッチーなハッシュタグを設定する
例) 広島県 #ひろしまにあ、和歌山県 #nagomi_wakayama
 - 観光協会等、観光分野の主体との連携が望ましい
(盛岡観光コンベンション協会は Twitter、Facebook を運用している)



広島県 Instagram (フォロワー2.5 万人)
#ひろしまにあ 投稿 11.4 万人



盛岡観光コンベンション協会 Twitter
(1,243 フォロワー)

ニューヨークタイムズ「2023 行くべき」選出を PR

- Facebook グループ「もりおか北上川・中津川ミズベリングイベント情報」
 - Facebook を活用しているような NPO・市民団体(まちづくりや自然環境に関わるもの)の活動に参加している方へアピールする

- 岩手河川国道事務所 web サイトのかわまちづくり関連情報のリニューアル
 - チャグチャグ馬コ (盛岡市観光課) や木伏緑地事業者 (民間)、材木町よ市 (民間) のような、認知度が高く参加者の多いイベント・スポットの web サイトや SNS とリンクさせる

石巻かわまち大賞報告会 (R5/2/5)



令和4年度「かわまち大賞」受賞報告会

全国の「かわまちづくり」の中から、他の候補となる先進的な取組として、国土交通大臣が表彰する「かわまち大賞」を石巻地区かわまちづくりが受賞しました！！市民の皆様と一緒に、これからの「かわまち」を盛り上げていくため、受賞報告会を開催します。

参加自由 (事前申込制) 【日時】 令和5年2月5日(日) 午前10:00～10:45

会場 いしのまき元気いちば 2階 元気食堂 (石巻市中央2丁目11-11)

プログラム

- 石巻市長より皆様へ
- 関係者によるこれからの「かわまち」の活用についての発表
- 報告会終了後、元気いちば背後の堤防上で記念の杜飯汁を無料提供！ (限定 200 杯)

同時開催

- 石巻まちゼミマルシェ開催 【時間】 午前10:00～午後 15:00



材木町商店街・よ市 Instagram (フォロワー3704 人)



木伏緑地 Facebook (いいね 839 件、フォロワー950 人)